

西河技術経営塾研究科前期 講義録 TA03

作成：瀧川 淳

日時：平成 29 年（2017 年） 7 月 21 日（金）午前 10 時 30 分 ～ 午前 11 時 45 分

場所：アーネスト育成財団内会議室（渋谷区代々木 1-57-2 ドルミ代々木 704 号）

講師：小平和一郎

研究生：瀧川 淳

講義名：(TA03)¹「第 7 章／第 17 章のアジェンダ内容の推敲、技術経営（単に経営と呼ぶ場合との違い）についてのレポートの発表」

講義内容

1. 概要

第 3 回目（TA03）の講義（研修）を行った。内容は以下の通り。

- ・ 第 7 章「エンジニアリング・ブランドと技術経営を学ぶ」について担当部分のアジェンダ再検討案を提出・発表、問題意識やストーリーについて協議
- ・ 第 17 章「ICT を活用した新規ビジネス」について担当部分のアジェンダ案を提出・発表、問題意識やストーリーについて協議
- ・ 「なぜ、経営塾でなく、技術経営塾なのか」についてのレポートを発表
- ・ 2017 年 7 月 21 日付、日経本紙コラム「やさしい経済学」について議論

2. 小平からの要望とフィードバック

(1) 要望

講義内容について単なる説明だけではなく、学問的なアプローチ（学習者はその説明をヒントにどういった考察をすべきか、その説明が単一のケースだけではなくマクロ的な視点で社会全体にどういった意義があるのかなど）を意識されたい。

(2) フィードバック

アジェンダの大枠について問題ない。実践者として成功事例をふんだんに盛り込んでどうか。「シーズをニーズに変換できた」、「値付けや KPI が出来て事業計画が立案できてくる」といったポイントを細かく解説して、技術経営についてリアリティを伴った講義にすれば迫力が出てくる。

3. 次回までの宿題

(1) 第 7 章についてアジェンダの推敲

アジェンダのストーリーによりリアリティを出すため、エンジニアリング・ブランド構築例のケーススタディとして「明治座 SAKURA」について詳しく解説するスライドを追加。

(2) 第 17 章についてアジェンダの推敲

新しい事業モデル「C2C」『メルカリ』、通信分野の新しい事例「音響通信」『エヴィクサーのエンジニアリング・ブランド (Another Track)』について、ICT がもたらした機能をより明確に指摘して、アジェンダを推敲。

4. 次回日程

(1) 次回日程 8 月 1 日（火）10 時 30 分～12 時、財団にて。

(2) 参考資料

『戦略的ブランド・マネジメント 第 3 版』（2010 年）『戦略的ブランド・マネジメント』（2004 年）、ケビン・レーン ケラー著 東急エージェンシー

以上

¹（注）TA01：TA とは、Takigawa のこと。01 は、1 回目。第 2 回は、TA02 となる。